

関西労災病院麻酔科

専門研修プログラム

関西労災病院麻酔科専門研修プログラムHPを閲覧いただきありがとうございます。
関西労災病院は兵庫県尼崎市と西宮市を隔てる武庫川のほとり、甲子園球場にもほど近い落ち着いた環境に位置する病床数642床の総合病院です。全国の労災病院の中でもトップクラスの手術件数をほこる私たちの施設では、日常診療に従事するだけにとどまらず、きちんと教育を受けた麻酔科専門医を育成し、世に送り出す使命があると考え本プログラムを運営しています。現在7名の先生が麻酔科専門医を目指して本プログラムで研修しています。



関西労災病院イメージキャラクター
「かんろっこ」

本プログラムの特徴

1

豊富で幅広い一般症例件数

基幹施設である関西労災病院は地域のがん診療、急性期医療の中核病院で症例数が豊富です。小児外科以外の全ての外科系診療科が揃っており、総じて診療レベルが高いことも特徴です。
「最初から特殊な症例を経験するのではなく、まずはスタンダードな症例をしっかり管理できるよう基礎作りをしてから次のステップを目指したい。」とお考えの先生には最適なプログラムとなっています。

2

ゆとりのある育成プログラム

一例一例を大切にできるよう基幹施設における初年度の勤務は過度な負担をかけないよう配慮しています。激務に追われるあまりきちんと予習・復習する余裕もないような研修では本末転倒と考えているからです。当然リフレッシュする時間も必要です。基幹施設では当直義務はありません。また研修期間中に妊娠・出産といったライフイベントを経験される先生もいますが、個々の事情に合わせた対応をさせていただきます。

3

4つの大学との連携

基幹施設で麻酔管理の基礎を学んでいた後は特殊な症例の麻酔管理や手術麻酔以外の研鑽を積んでいくことになります。症例のバリエーションに富み様々な分野のスペシャリストから学ぶ機会がある大学機関が最良の研修施設であると考えており、4つの大学と連携しています。関連医局である大阪大学をまずおすすめしていますが、興味のある分野、あるいは出身校や地理的条件といった面がご自身の希望と異なれば神戸大学、大阪医科大学、関西医科大学でも研修していただけます。各大学の研修プログラムに登録するのに比べ、大学での研修期間や時期について相談できる点、また複数の大学を経験することも可能な点が本プログラムの特長となっています。もし個人的な事情等で大学機関での研修が不可能な場合には、他の連携施設で研修することにより必要とされる特殊症例の経験を積むことも可能です。

研修の実際

プログラム構成施設

基幹施設



関西労災病院

連携施設A

大阪大学医学部附属病院



神戸大学医学部附属病院



関西医科大学附属病院



大阪医科大学附属病院



連携施設B

成育医療研究センター



桜橋渡辺病院



大阪母子医療センター



研修スケジュール

本プログラムでは合計2-3年間で基幹施設で、1-2年間で連携施設で研修していただきます。毎年希望を尋ねたうえで連携施設の事情とのすり合わせを行い、できる限り各人が希望する研修となるよう努めます。

研修1年目

基幹施設で麻酔管理の基礎を学ぶ。気道確保、血管確保、脊髄くも膜下麻酔、末梢神経ブロックなどの手技の向上を目指す。習熟度に応じて分離換気症例、帝王切開、緊急手術などの麻酔管理にもつく。

研修2年目

基幹施設で重症患者や心臓血管外科を含めた麻酔管理に従事する。学会発表も行う。希望すればこの年度に連携施設で研修するスケジュールも可能である。

研修3年目

連携施設で研修する。連携施設の特徴によって心臓麻酔、小児麻酔、無痛分娩、ペインクリニック、集中治療、緩和医療など様々な経験を積むこともできる。

研修4年目

前年度と同一または異なる連携施設でサブスペシャリティを磨いてもよいし、認定試験を見据えて基幹施設に戻ってもよい。基幹施設で救急医療や緩和ケアを学ぶ選択肢もある。

ローテーションの一例

基幹施設+1大学型

1大学+小児追加型

2大学型

市中病院型

1年目

関西労災病院

関西労災病院

関西労災病院

関西労災病院

2年目

関西労災病院

関西労災病院

関西労災病院

関西労災病院

3年目

阪大病院

大阪医大病院

関西医大病院

大阪母子医療C

4年目

阪大病院

成育医療C
関西労災病院

神大病院

桜橋渡辺病院
関西労災病院

基幹施設 関西労災病院 について

- ・ロボット手術（消化器外科、呼吸器外科、産婦人科、泌尿器科）、TAVI、WATCHMANなど先端手術が行われています。2020年度はロボット支援下脾臓十二指腸切除術の開始予定。
- ・整形外科手術が多いので四肢の末梢神経ブロックや脊髄麻酔を行う機会がたくさんあります。
- ・職員用保育所の整備や長時間労働を避ける工夫、雑務の最小化など、世間より一足先に働き方改革に取り組んできました。
- ・麻酔科は院内有数の大所帯で総勢20名、うち専門医10名。若い先生が多く平均年齢は30代前半。小さなお子さんのいる先生もたくさんいて、仕事の話以外にも子育てやお出かけ、海外旅行など、いろんな話題で盛り上がるととても明るく風通しの良い雰囲気の職場です。
- ・職員用保育所の整備や長時間労働を避ける工夫など一足早く働き方改革に取り組んできました。
- ・主任部長の上山副院長は第121回産科麻酔学会学術集会、第65回日本麻酔科学会関西支部学術集会にて大会会長をつとめました。
- ・プログラム終了後の勤務や所属についての束縛はありません（相談があればお力になります）。



広くて明るい麻酔科室

特殊症例の件数（2019年度実績）

開頭を伴う脳神経外科手術	168
分離肺換気を行う胸部手術	200
心臓外科Ⅰ（人工心肺を用いる手術 + Off-Pump CABG）	74
心臓外科Ⅱ（TAVI、ステントグラフトなど）	108
帝王切開	94
6歳未満の小児	23

少しでも興味をお持ちになった先生はどうぞお気軽にお問合せください。見学も大歓迎です。

関西労災病院麻酔科専門研修プログラム 統括責任者 興津 賢太（おきつ けんた）06-6416-1221 kokitsu@anes.med.osaka-u.ac.jp